

## 保健師からの ちょっといいはなし!

コメント

「夏本番の季節がやって  
きました。皆様いかが  
お過ごしですか?」



## 夏の皮膚のトラブル

～とびひ～



夏はあせもや、虫刺されなど皮膚のトラブルが増える季節です。特に皮膚が薄く皮膚の抵抗力が弱い子どもは、あせもや虫刺されの部分をかき壊すと、皮膚の表面にバイ菌(主に黄色ブドウ球菌)が繁殖して、とびひ(伝染性膿痂疹)になる場合があります。

とびひの原因になるバイ菌の多くは、普段は鼻の中にひそんでいるので、鼻水を触ったりした手で、虫さされや、湿疹、あせもを触ることがないよう注意が必要です。  
とびひに感染すると強いかゆみがあります。子どもはかゆみを我慢することが難しいので、「かゆい、かゆい。」とかきむしると、全身に広がってしまいます。とびひは自然に治るには時間がかかり、また人にもうつる病気なので予防がとても大切です。

### あせもを予防する

とびひの予防で何より大切なのは、皮膚を清潔に保つことです。汗をかきやすいこの時期は、毎日入浴し、首や脇、背中などあせものできやすいところを丁寧に洗い、汗をかいたらこまめに衣類を交換しましょう。また、爪は角が立たないように、切りそろえることも大切です。

### 虫さされ、すり傷の手当

最近、虫さされの部分をかき壊さないようにするための、

パウチシールが市販されており有効です。

ただし、長時間貼り続けたり、かき壊した部分に使用すると、患部を密閉し、皮膚がふやけてバイ菌が繁殖しやすくなります。また、すり傷に絆創膏を貼ることも同じことが言えますので、この時期はできるだけ使用しないようにしましょう。

### とびひかな?と思ったら

もし、とびひかな?と思ったら、早めに皮膚科に行きましょう。お子さんなら小児科でも相談のついでにだけかまします。とびひは、自分勝手に薬を使用したり、治療を中断すると症状を悪化させるので、たとえ治療の途中で症状が良くなったとしても、最後まで医師の指示に従いましょう。  
自宅では入浴ではなくシャワー浴とし、患部を抗菌性のある石けんで洗い、清潔を保つことが大切です。

とびひを予防し、水遊びなど夏ならではの遊びを、思いきり楽しみましょう。

## 「広報みなの」 有料広告を募集します

広報は毎月1回、4,000部発行され、各世帯に配布されますので、お店や事業所の紹介に効果的です。  
ぜひ、ご活用ください。

### 【申請者の資格】

町内に住所または事業所を有する者

### 【掲載スペース・料金】

掲載を適当とするページの最下段1段  
1号(縦50mm×横90mm) 1回当たり 5,000円  
2号(縦50mm×横180mm) 〳 10,000円

### 【広告掲載申請書配布場所】

総務課企画政策担当  
※ホームページからもダウンロードできます。

### 【留意事項】

- ・公の秩序、善良の風俗に反するおそれのあるもの、政治活動や宗教活動に係るものなどについては掲載できません。
- ・ホームページに掲載されている「広報みなの」には広告は掲載されません。

### 【申込み】

掲載を希望する月の前々月20日までに、掲載しようとする広告の原稿を添えて『広告掲載申請書』を総務課企画政策担当へ

☎62-1230 内線204